



THE JTSU-E JOURNAL



公式ホームページ 公式SNS (X)

所在地: 〒135-0044 | 電話: 03-6458-5603 | H P: http://jtsu-e.com | 発行人: 佐々木 宏 充 2024年 11月22日 第57号 月1回発行/1部20円 (組合員の購読料は組合費に含む)
東京都江東区越中島3-5-10 | F A X: 03-6458-5605 | メール: union@jtsu-e.com | 編集人: 奥 富 亨

職場の努力で生み出した2024年度第2四半期決算「増収増益」の好業績でも

2024年度年末手当

JR東日本 社員へ真つ当な還元おこなわず

誰もが好業績を実感した中での低額回答に愕然

現場は「怒り」と「失望」の声で溢れかえっている！

基準内賃金の

2.8ヶ月分 + 0.1ヶ月分 を加算し 2.9ヶ月分

平均基準内賃金: 355,868円 平均支給額: 1,032,000円
社員数: 44,000人 平均年齢: 39.6歳

支給日: 令和6年12月3日(火)



すべての仲間とつくり上げた「JTSU-E 2024 “秋”」

中央本部は、11月12日の申12号「2024年度年末手当に関する申し入れ」第3回団体交渉および11月13日の申17号「すべての仲間の努力を評価し『真の笑顔と活気あふれる職場』を創造するために、2024年度年末手当の再考を求める申し入れ」団体交渉を行いました。会社は「営業利益は126.4%と業績は回復している一方、取り巻く経営環境は厳しい」「欧米における高い金利水準への不安がある」と回答の主な理由を述べました。

「出し渋る」経営姿勢は容認できない

中央本部は「旺盛なインバウンド需要を当社エリアに取り込めていない」「金利水準への不安」との会社回答は経営責任であること。また、回答は第2四半期決算で好業績をつくり出した現場の努力を踏みにじるものであり、直近の業績を反映しない低額回答を行った会社姿勢を厳しく指摘してきました。「経営判断において増やした有利子負債を『出さない理由』にする一方で、さらなる努力を求める経営姿勢は認められない」「一部の社友会懇親会への経費拠出など、すべての社員に公正公平に還元が行われていない」など職場の怒りの声と、改めてコロナ危機と赤字経営を乗り越えた社員の奮闘を正しく評価することを踏まえ会社回答の再考を求めました。しかし、会社は「物価上昇の中で苦しさが増す生活や、要員不足の中でも奮闘したことへの評価を求める声を受け止める」と述べるも、再考の実現には至りませんでした。

すべての仲間とつくり上げた輸送サービス

労組運動で、労使の一致点を導き出す

経営姿勢を問いつつともに、安全問題や要員不足など、組合員の労苦と悲痛な声に踏まえた諸問題の解決に向けて、労使の一致点を導き出してきました。確認した一致点を基礎に次なる運動へ歩みを進め、輸送サービス労組の強化と拡大を通じて、働く者が真の主役となる安全なJR東日本を実現していきましょう！

【団体交渉によって導き出した労使の一致点】

1. 会社の持続的発展を通じた利益である直近の業績に踏まえ、物価等の社会的動向や生活を考慮して社員の努力に適正に還元していくとともに、そのための議論を労使双方が惜しむことなくおこなっていく
2. 成績率の適用は、任用の基準に則り公正に判断して取扱うこととし、手当水準を補うような考えはない
3. 現場社員の努力による昨年度を上回る業務の結果を損なうことのないよう、すべてのサービスの信頼の基盤である「安全」をしっかりと堅持していく
4. 超過勤務・休日出勤が前提となる勤務作成はあるべき姿ではなく、必要な要員は確保していく
5. これまでと同様に優秀な人材確保に積極的に取り組むとともに、離職者が増えぬよう魅力ある働きがいもてる職場づくりに努めていく

11月20日 提出 申18号 すべての仲間の「働きがい」と「豊かさ」を形にするために、諸手当改善をはじめとした総合労働条件の向上を求める申し入れ

項目	改善内容	現状	改善目標
1. 地域手当	地域手当の適用範囲を拡大し、過疎化が進む地域の賃金格差を縮小する。	適用範囲が限定的	過疎化地域の賃金格差を縮小
2. 通勤手当	通勤手当の上限額を引き上げ、遠距離通勤者の負担を軽減する。	上限額が低い	遠距離通勤者の負担を軽減
3. 家族手当	家族手当の適用範囲を拡大し、多様な働き方に対応する。	適用範囲が狭い	多様な働き方に対応
4. 育児手当	育児手当の支給額を増やし、子育て世代の働きやすさを高める。	支給額が低い	子育て世代の働きやすさを高める
5. 退職金	退職金の計算方法を改善し、退職者の生活安定を図る。	計算方法が不利	退職者の生活安定を図る

組合員の声によってつくり出された要求項目！

諸手当改善 を実現しよう！

“働く者が真の主役になるJR東日本”“真の笑顔と活気あふれる職場”と豊かさを形にするための諸手当改善を実現するために、今こそ立ちあがろう！



申し入れ項目

発信者

「都道府県魅力度ランキング」が発表された。今年は特に下位の順位に変動があるなど、上位と下位の差が縮まっていると分析されている。地域の魅力度を高める一つの要因には公共交通のアクセスもある。▼地方ローカル線のいわゆる「36路線72区間問題」はさらに悪化している。地方路線の廃止検討というニュースも流れる。利用促進へと結びつけていく、地域と一体となった取り組みが重要になってくる。▼JR東日本は地域共創を掲げているが、組織再編により、地域との連携・企画立案などは各職場に移管され、業務の合間でやっているのが実情である。「地域との連携」という重要な企画業務だからこそ集中して取り組める環境が必要だ。▼地域の過疎化・人口の都市一極集中が問題視される今こそ、地域はもろろ利用者・社員の声にしっかりと耳を傾け、安全で魅力溢れる鉄道輸送を創造できる企業へと、私たちの手でつくりかえていかなければならない。(R・N)